

2018年
2月10日

No.231

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24

さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
TEL・FAX 077-545-5154

滋賀銀行従業員組合・年金者部会・さざなみネット合同旗開き 3つの組織が協力して改憲阻止・リストラや再編への反撃を

さざなみネットは、滋賀銀行従業員組合および同・年金者部会と合同で、1月23日大津市内において、「2018年合同旗びらき」を開きました。それぞれの役員11人が、内さざなみネットから3人が参加しました。

はじめに和田年金者部会部会長が、乾杯と挨拶(次記)をされました。

**改憲の発議させないため みんなで行動し
この国の進むべき道をしっかり示そう**

今年は憲法を改憲させるか否かの正念場の年です。安倍首相は年頭記者会見で「今年は日本国憲法のあるべき姿を国民に示し議論したい」と、改憲への意欲を強調しました。

そして1月22日の自民党の両院議員総会で「いよいよ実現する時」と、年内の国会発議を目指し議論を加速させる構えです。日本国憲法のあるべき姿とは、既に70余年実践してきた現憲法です。日本国憲法9条・武力の不所持は、戦争の放棄を戦争の多くの尊い命の



犠牲の上に宣言した世界の宝です。国家間のもめ事の解決に武力を使用しない、そのため戦争という武力を放棄することを高らかに謳った。他にどんな憲法のあるべき姿があるのか。発議させないためみんなで行動し、この国の進むべき道をしっかり示そうではないか。

次に中島滋賀従組委員長が挨拶(次記)されました。



**電子マネー・仮想通貨の増加 メガバンクの
リストラ 労働者の立場からの対策と反撃が課題**

昨年北海道拓殖銀行や山一証券の破綻から20年になり、今年リーマンショックから10年になる。この10年・20年を振り返ると、日本経済の中心が「モノづくり」から「金融」に、金融も「国内」から「国外」に軸足が移っていった。最近では電子マネーや仮想通貨が増え、またメガバンクなどのリストラや地方銀行の再編が「正当」かのように報道されている。労働者の立場に立ってどうするのか。組合で課題を提案していきたい。

その後、参加者は新しい年への決意などを、食事をしながら交流し、和やかに懇談しました。

最後に浦谷さざなみネット分会長が、次の通り閉会の挨拶をしました。

3つの組織がお互いに協力し、今年も健康に気を付けて、がんばろう。



早春 岩波 美智子さん 画

**2018年
国民春闘**

大幅賃上げと長時間労働の改善を

金融労連は、2月1日から28日までを、「18春闘要求討議促進月間」とし、職場から要求づくりをすすめています。大幅賃上げと職場環境の改善、働く者の権利と地域経済・利用者を守るため、次の金融労連や全労連の春闘重点課題などを参考にして、自分たちの要求づくりをすすめましょう。

春闘重点課題

- ①生計費原則にもとづく賃金の大幅引き上げと格差の是正
- ②非正規労働者の雇用確保・労働条件改善と組織化
- ③パワハラをはじめ、全てのハラスメントの根絶
- ④奨学金返済負担の軽減
- ⑤労働時間の短縮



スローガン

- ・安倍9条改憲・労働法制改悪 NO!
- ・賃上げと安定雇用で地域活性化!

18春闘4つの重点

- ①誰もが8時間働けば人間らしいくらしが実現できる春闘に!
- ②格差を是正する春闘に!
- ③安倍9条改憲に終止符を打ち、戦争する国づくりから転換し、平和で核兵器のない世界をつくる春闘に!
- ④すべての参加組合が純増を実現する春闘に!

統一要求

賃上げ要求 月額20,000円以上
時間額150円以上

最低賃金要求 時間額1,000円以上、日額8,000円以上、月額170,000円以上

底上げ要求 すべての働く人々の賃上げ底上げ

を実施し、時給1,000円未満をなくす
時間外労働 時間外労働の上限は、週15時間、月45時間、年360時間までとする

インターバル規制 勤務時間インターバルは24時間のうち11時間以上とする

「安倍9条改憲NO! 市民アクション・滋賀」発足集会

県内30万人の「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」を集め、改憲阻止を

2月3日、大津市のピアザ淡海で「安倍9条改憲NO! 市民アクション・滋賀」の発足集会が開催され、会場いっぱいの300人が集まりました。

「安倍9条改憲NO! 市民アクション・滋賀」は、「憲法を守る滋賀共同センター」や「戦争をさせない1000人委員会・しが」など県内7団体による準備会が発足を呼びかけたものです。

集会では、呼びかけ人を代表して井戸謙一さん（弁護士）が「行き詰った資本主義救済の最後の手段は戦争への道」「9条への自衛隊の明記は戦争への地ならし」「尊い9条を将来の世代に引き継ぐのは私たちの責務」と開会のあいさつをしました。

講演は、伊藤真弁護士（日弁連憲法問題対策副本部長・九条の会世話人など）が「改めて憲法を考える一改憲を阻止するため」と題して行ないました。



会場いっぱいのキックオフ集会
井戸謙一さんが開会あいさつ



講演をする伊藤真さん

伊藤さんは日本国憲法の神髄を縦横に語り、世界の憲法と戦争に参加する国々、戦場の実態を話しました。そして、安倍改憲の狙いである自衛隊を書き込むことについて、「何も変わらないという嘘に惑わされてはいけない」「自衛隊という名称の軍隊をもった普通の国になり、9条2項が削除されたのと同じことになり」「国防の名で徴兵制が可能になる」と語りました。

最後に、「発議させないことが最も重要であり、3000万署名をやりきる」「戦争の悲惨さを自分の生活に引き寄せて想像し、委縮しないで声をあげる」「明日の日本は今日の私たちが創る、今を生きる者としての責任を果たすこと」「ゆっくり急ぎ、慌てず、焦らず、諦めず、一步一步」活動しようと呼びかけられました。